

東海大学医学部付属病院では、

受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を

共同研究機関より提供を受けて下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

### 【研究課題名】

Epstein-Barr virus (EBV) 陽性悪性リンパ腫についての microRNA の研究

### 【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、EBV 陽性悪性リンパ腫のサブタイプ間の違いおよび、特異的 miRNA の発現細胞と発現制御機構を解明することを目的とした共同研究を実施するためです。

### 【研究の対象となる方】

2006年5月1日 から 臨床研究委員会承認日前日（2019年7月1日）までの間に、当院の血液腫瘍内科でEBV 陽性悪性リンパ腫（びまん性大細胞型B細胞リンパ腫、ホジキンリンパ腫）及び、EBV 陰性悪性リンパ腫（びまん性大細胞型B細胞リンパ腫、ホジキンリンパ腫）に対する治療を受けられた方です。

### 【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2021年3月31日 まで

### 【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・ 試料：20歳以上のリンパ腫組織病理検体
- ・ 診療情報等：年齢、性別、人種、診断年月日、状態（生存、死亡）、病変部位（骨髄、末梢血、脾臓、肝臓、皮膚、鼻腔）、EBウイルス有無と同定方法、診断時の腫瘍の表面抗原検査結果、B・T細胞受容体再構成、染色体検査結果

### 【情報の提供先・提供方法】

上記の試料・診療情報等は久留米大学、琉球大学、東京大学より郵送にて東海大学に提供されます。

また、東海大学で得た情報等に関しては東海大学内のみで利用します。

### 【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

### 【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- ・ 研究代表機関：東海大学医学部付属病院

・研究代表者：血液腫瘍内科 教授 幸谷 愛

【研究分担施設及び各施設の研究責任者】

研究分担施設	研究責任者
東海大学医学部血液腫瘍内科 教授	幸谷 愛
久留米大学医学部病理学 教授	大島 孝一 三好 寛明
琉球大学医学部細胞病理学 教授	加留部 謙之輔
東京大学医学部 教授	村上 誠

【問い合わせ先】

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2781）

研究責任者 血液・腫瘍内科 幸谷愛

問い合わせ担当者 血液・腫瘍内科 幸谷愛